

### 設備を充実させて他社の追従を許さないビジネスモデルを確立

#### 株式会社オリンピア

ミュージシャンのコンサート会場では様々なオリジナルグッズが販売される。その中でも人気の高いのがオリジナルTシャツ。来日する外国人ミュージシャンの国内販売用Tシャツのプリントをほぼ100%手がけているシルク印刷会社が大館市にある。その意外性のある事業内容を聞く。

#### ミュージシャンTシャツを一手に

昔の謄写版に似た原理で繊維製品などにプリントをするシルク印刷という技法があるが、シルク印刷専門会社が全国に数多い中で大館市の株式会社オリンピアが特異な点は、有名ミュージシャンがコンサート会場で販売するオリジナルプリントTシャツの製造に事業を特化していることだ。来日公演をする外国人有名アーティストのTシャツは、ほぼ100%手がけているという。

「最近の傾向として、コンサート初日のTシャツの売れ行き状況で翌日分の追加注文枚数が決まり、その連絡を受けてから短時間で刷り上げて、空路で羽田に運び、コンサートの開場時間に間に合わせるというようなことがあります」(今村文隆社長)



デザインは顧客からデータで送られてくる。それを見ながら作業工程を組み立てていく。

#### 設備の充実で他社の追従を許さず

十数年前、誰もが知っている有名ミュージシャンが来日公演をしたとき、同業他社が受注した膨大な量のTシャツプリントの仕事を手伝ったことがあった。そのときの、短時間で要求通りのものに仕上げる仕事ぶりが高く評価され、以来同種のプリントはオリンピアの独壇場という形になった。

短時間で大量ロットのTシャツプリントを仕上げるため、オリンピアでは14色刷り印刷機が4基、あきた企業活性化センターの設備貸与事業を利用して導入した16色刷り印刷機が1基の計5基を所有している。多色刷りのシルク印刷機をこれだけ所有している会社は国内唯一だと言う。

#### 従業員を増やして最繁忙期に対処

機材や材料関係がほとんど輸入品のため、円安になると仕入れコストがかかり増しになる。その一方で、景気の低迷もあってどんなに手間のかかる仕事でも工賃は抑えられるのが経営上の厳しいところ。

音楽業界以外のたとえばスポーツ団体などからも新規取引の引き合いが入ることもあるが、最大の生産能力に限りがあるので軽々には新規の取引を増やせないのが現状だ。

現在は中国人研修生も含めて従



あきた企業活性化センターの設備貸与事業を利用して導入した16色刷り自動シルク印刷機。購入すれば3千万円近い高価な設備だ。

#### 株式会社オリンピア

〒017-0045 秋田県大館市中道1-2-10

Tel. 0186-43-3389

Fax.0186-43-3366

E-mail olympia@cronos.ocn.ne.jp



自動機を使っても微調整には熟練の職人の経験や勤が欠かせない。刷り始める前のセッティングに手間と神経を使う。(写真上)  
今村文隆社長は縫製会社を運営していた父親の事業を継ぐため東京からUターンしてきた。(写真下)

業員18名の体制だが、最繁忙期にはそれでも人手が足りなくなるので、来年度は新卒を採用して25名体制になる予定である。